

大幅賃上げ！過労死根絶！14 春闘へ

時給 870 円で暮らせるか！働き続けられる労働環境にしろ！

■安すぎる！TTSの低賃金。TTSはブラック企業。

TTSの賃金は余りにも安い。パートは、時給 870 円で基本給だけでは生活保護水準。清掃労働者の圧倒的多数、約 9 割が非正規労働者だ。しかも非正規も、パート、契約 7 級、2 級、1 級と分断し、正社員となれるのは全体の 1 割強だ。分断して支配する典型だ。

これで、4 月から消費税が 8 %上がるし、現在も物価は生鮮食品を中心にあがってきている。このままではとても生活できない。文字通り「大幅賃上げ」が不可欠だ。

TTS清掃は、他の清掃業務に比しても、その業務実態はハードだ。夜勤もある。これで時給 870 円では、採用になったと思ったらすぐ辞めてしまう人が相次ぐのも当然。大量採用大量退職の典型的ブラック企業だ！

■実態はハードなTTSの清掃労働

千葉鉄道サービス（CTS）でエルダーで働いていた金子さん（動労千葉組合員。成田空港駅）の場合は、一勤務につき 5 万歩歩かされていたことが明らかになっている。しかもラッシュ時間帯では、数分間に 15 両を走り抜けながら、ゴミひろい、トイレ掃除し、忘れ物を持ち、床にモップをかけ、グリーン車の方向転換もしなければならぬ。連結があれば途中ホームに降りなくてはならない。休憩時間もまとまって取れず、定まった休憩所で休めるとは限らない。

■深夜割増をケチられ夜勤が強制

深夜 2 時 20 分までの夜間労働が週に 3 日から 4 日ありながら、乗務員の

ない。居眠り運転をしないように帰宅することも緊張がいる。4 時間くらいしか寝れないことも多々ある。週 3 日から 4 日の夜勤、2 日程度の昼間勤務は、交代制勤務の工場労働者や看護師などと比べても、人間の体内リズムに一切配慮をしていない。慢性的睡眠不足は、慢性疲労となり、ミスや事故の原因となる。

■週休二日は空文。法定休日も保証されない。

辞める人が多いから、「もらい勤務」といった穴埋めを入れられ週休二日制は事実上空文。穴埋めに夜勤を入れられれば法定休日も 24 時間フルに確保されない。これでは過労死ストレスだ。実際、成田空港駅では金子さんの労災死亡が大問題になっている。

この業務実態で、パート 870 円！契約社員月給 15 万！それはないだろう！！

大幅賃上げ、勤務シフトの見直し、割増や手当の充実なしには、休暇・休憩の確保なしには、とても働き続けられない。家族を守ることもできない！

■非正規労働者の生活や権利の抜本的改善に本気でない東労組

東労組の強い影響下にある組合は、非正規労働者の正規職化・労働条件の抜本的改善に取り組まない。下請け会社や外注先会社は、JR と労使一体が大方針の東労組にとって、もともと労組幹部やOBの天下り先だからだ。国鉄分割民営化いらい、ずっと JR と闘って来た動労連帯に加入して、大幅賃上げをかちとろう！

動労連帯 2014 年旗開き

■1 月 24 日（金） 18 : 00 から

■熊谷市商工会館（JR 熊谷駅 15 分。熊谷市役所隣）にて

※組合員以外の参加も歓迎です。

解雇撤回・JR 復帰！新たな最高裁署名貫徹！

外注化阻止、非正規職撤廃！動労連帯（動労総連合傘下）に加入して闘おう！



■ 昨年 1 年間の闘いは、1047 名解雇撤回闘争と外注化阻止闘争で大きな地平をきり開きました。解雇撤回闘争では、ついに国鉄改革の真実を暴きだし、攻撃の核心を打ち破ろうとしているのです。JR 不採用の選考基準を井手や葛西ら国鉄幹部と JR 設立委員長が共謀して決定していたことが明らかになった。9・25 高裁判決は、採用差別が不当労働行為であったと認めざるを得ませんでした。にも係わらず、「JR には採用の自由がある」と言って解雇撤回を拒否しました。しかし、この判決は労働運動の現状に大きな一石を投じた。

一旦全員解雇・選別再雇用方式の民営化を合法化した国鉄改革法と派遣法の成立は、労働者の雇用と権利に対して打ち下ろされた決定的な一撃でした。労働組合は際限なく後退し、「国鉄方式」の攻撃が全労働者を襲い、2 千万人が非正規職に突き落とされました。解雇も不当労働行為もやりたい放題の世の中が生まれ出されたのです。われわれは、その「改革法体制」とも言うべき現実を突き崩す手がかりをついにつかんだのです。だから、絶対に解雇撤回をかちとりたい。それができれば、以降、労働者を襲った攻撃が不当なものであったことが証明されるし、安倍政権がやろうとしている公共部門丸ごと民営化や総非正規化攻撃も崩すことができます。だから、26 年間の闘いの全てをかけて最高裁闘争に立ち上がりたいと思います。

■ 外注化阻止闘争では、新たな一步は踏み出すことができました。国鉄分割・民営化に真正面から立ち向かって団結を守りぬいた 30 年余りの闘い、数十波の

ストライキと組織拡大闘争で外注化攻撃と対決しぬいたこの 10 数年の闘いは、労働運動の歴史から見ても本当に大きな意味をもった。その上で、昨年、外注化を粉砕するために JR と CTS をつらぬく闘いに本気になって突入することをつかみ取った。正規・非正規の連帯という、多くの人々が言ってきながら実現できなかっためしがほとんど無い新たな闘いをやりぬき、絶対に組織拡大を実現しようと決断した。TTS はブラック企業そのもの。9 割以上が非正規で労働条件も最悪。労災隠しもあたりまえ。検修・構内業務を受託する資格は全くない。全てが偽装請負。これらを突破口に絶対外注化を粉砕する。

■ 2014 年は、まず解雇撤回・JR 復帰の判決をかちとるため最高裁に向けた新たな 10 万人署名運動を全力で闘いぬく。第二に、外注化粉砕に向けた展望をこじ開ける。偽装請負や外注化による安全崩壊問題を追及し、労災事件や受委託をめぐる不正事件を闘って外注化の不当さを暴きだす。そのなかで、組織拡大を絶対に実現する。第三に、派遣法改悪絶対反対、貨物賃下げ攻撃粉砕を掲げて 14 春闘に立つ。第四に、安倍政権を倒す決意で闘いぬきたい。改憲と戦争への道を許さない、解雇自由と総非正規職化を絶対に許さない、原発再稼働を絶対に許さない。そのために必要なのは、「今こそ闘う労働組合を全国の職場に！」です。資本家の延命のために犠牲にされ「もうたくさんだ！」という怒りの声が溢れています。その先頭で闘う。（上部団体動労総連合・田中委員長）

1 月 10 日

国鉄高崎動力車連帯労働組合

No118

（連絡先：048-722-7107 fax 共）